

読売新聞に掲載されました

(第3種郵便物認可)

2016年(平成28年)4月3日(日曜日)

病院の実力「眼科」 医療機関別2015年治療実績 (読売新聞調べ)

医療機関名	硝子体手術の件数	白内障の手術の件数	緑内障の手術の件数	網膜剥離への強膜内陥手術の件数	小児分野の専門外来設置(設置は○)
茨城					
小沢眼科内科	1088	4692	287	115	
筑波大	498	246	109	34	○
東京医大茨城医療セ	366	786	21	48	
友愛記念	145	1018	23	2	
日立総合	62	748	3	2	
水戸済生会総合	57	397	37	12	○
水戸協同	54	430	5	3	
龍ヶ崎済生会	32	661	11	10	
茨城西南医療セ	20	482	2	0	
牛久愛和総合	10	322	0	0	
つくばセントラル	8	309	1	0	
県立中央	6	239	2	0	
国・水戸医療セ	3	210	0	0	
土浦協同	2	306	0	0	
千葉					
東邦大佐倉	665	1321	51	67	
千葉大	636	1257	155	76	○
順天堂大浦安	630	904	69	100	○
慈恵医大柏	303	1581	58	16	
国保旭中央	214	1170	70	7	
日本医大千葉北総	187	1455	24	0	○
亀田総合	180	1200	15	5	
国・千葉医療セ	85	1027	1	5	
国立国際医療研究セ国府台	51	259	1	0	○
東京歯科大市川総合	34	1362	11	0	
東京女子医大八千代医療セ	30	500	0	3	○
成田赤十字	22	572	9	14	
山王	20	300	5	0	
聖隷佐倉市民	11	268	1	0	
千葉西総合	2	418	5	0	
済生会習志野	0	650	0	0	
千葉労災	0	523	0	0	
船橋市立医療セ	0	441	0	0	
井上記念	0	304	3	0	
県こども	0	4	2	0	○
栃木					
独協医大	676	1664	89	284	○
自治医大	493	1287	25	45	
原眼科	75	1589	265	3	
国際医療福祉大	58	727	10	0	
足利赤十字	0	約600	0	0	

「セ」はセンター。「国・」は独立行政法人国立病院機構。

全国の調査結果は「暮らし健康面」に掲載しています。次回は5月1日「補聴器」の予定です。

病院の実力

～茨城編 98

今回は眼科の治療を特集する。一覧表には、「硝子体手術」「白内障の水晶体再建術」「緑内障の手術」「網膜剥離への強膜内陥手術」の2015年の各実施件数と、

眼科

白内障手術 日帰りも

「小児分野の専門外来設置の有無」を掲載した。硝子体手術は、糖尿病が進行し、目の奥の網膜周辺で血管が破れ出血した場合などに行う。眼球に3か所の穴を開け、器具を入れて血を取り除く。難しい治療とされ、設備要で、日帰りでも広く行われている。効果も十分でない場合、眼圧を下げる点眼薬が中心だが、小児分野の専門外来では、眼鏡をかけても視力が改善しない弱視や、黒目の位置がずれている斜視などを診ている。

「白内障は、目の中でレンズの役割を果たす水晶体が、老化などに伴って濁ってくる。水晶体を取り除き、人工の眼内レンズに置き換える手術が必要で、日帰りでも広く行われている。効果も十分でない場合、眼圧を下げる点眼薬が中心だが、小児分野の専門外来では、眼鏡をかけても視力が改善しない弱視や、黒目の位置がずれている斜視などを診ている。」

「白内障は、目の中でレンズの役割を果たす水晶体が、老化などに伴って濁ってくる。水晶体を取り除き、人工の眼内レンズに置き換える手術が必要で、日帰りでも広く行われている。効果も十分でない場合、眼圧を下げる点眼薬が中心だが、小児分野の専門外来では、眼鏡をかけても視力が改善しない弱視や、黒目の位置がずれている斜視などを診ている。」

「硝子体手術は、糖尿病が進行し、目の奥の網膜周辺で血管が破れ出血した場合などに行う。眼球に3か所の穴を開け、器具を入れて血を取り除く。難しい治療とされ、設備要で、日帰りでも広く行われている。効果も十分でない場合、眼圧を下げる点眼薬が中心だが、小児分野の専門外来では、眼鏡をかけても視力が改善しない弱視や、黒目の位置がずれている斜視などを診ている。」

「硝子体手術は、糖尿病が進行し、目の奥の網膜周辺で血管が破れ出血した場合などに行う。眼球に3か所の穴を開け、器具を入れて血を取り除く。難しい治療とされ、設備要で、日帰りでも広く行われている。効果も十分でない場合、眼圧を下げる点眼薬が中心だが、小児分野の専門外来では、眼鏡をかけても視力が改善しない弱視や、黒目の位置がずれている斜視などを診ている。」

上昇の進行を止める手術が行われる。

網膜剥離は、目の奥にある網膜がはがれ失明に至る。眼球の外側を覆う強膜の上からシリコンスポンジを押しつけ、網膜をくっつける手術が行われる。

小児分野の専門外来では、眼鏡をかけても視力が改善しない弱視や、黒目の位置がずれている斜視などを診ている。